

# 第18期 第3回 砂防公開講座 実施報告

## 《群馬県内における利根川と地域の関わりの歴史》

平成27年2月25日(水)実施 ～参加者17名～

砂防公開講座とは、土砂災害・地すべり・火山災害から暮らしを守る砂防事業を肌で感じ、知識と理解を深めて、防災について学ぶ講座です。

### ◆室内講義（利根川水系砂防事務所 会議室）

利根川は群馬県利根郡みなかみ町の大水上山に源を発し、関東平野を貫流して千葉県銚子市で太平洋に注ぐ、流域面積16,840m<sup>2</sup>・流路延長322kmの我が国最大の流域面積を誇る河川です。

当事務所は、群馬県における利根川の上流支川である片品川、吾妻川、烏川、神流川で砂防事業を行っていますが、今回の「砂防公開講座」では、あらためて「利根川」の歴史を紐解き「群馬県内における利根川と地域の関わりの歴史」と題して、当事務所の副所長(技)による室内講義を行いました。

### 【講義内容】

- ▶カスリーン台風による赤城山麓の土砂災害
- ▶利根川上流ダム群の役割
- ▶酸性河川の品木ダムによる中和効果
- ▶烏川上流域の歴史的な砂防堰堤群
- ▶低落差水力発電で利根川を有効利用
- ▶神流川の自然景観再生を目指して



■室内講義で紹介がありました「登録有形文化財」に、当事務所では3つの砂防堰堤が登録されています。



榛名川上流砂防堰堤

所在の場所 高崎市榛名山町  
年代 昭和30年  
登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの



烏川上流砂防堰堤

所在の場所 高崎市倉淵町川浦  
年代 昭和26年  
登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの



三沢川砂防堰堤

所在の場所 高崎市倉淵町川浦  
年代 昭和13年  
登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの

### 受講生の声

(アンケートより抜粋)

- ・普段、得ることの出来ない情報で、いつも楽しみにしている。
- ・自分たちの古里の歴史を知る事ができた。
- ・工事現場や砂防施設の見学も計画してほしい。
- ・砂防公開講座の開催について、もう少しアピールした方が良い。